

# これまでの衛星基幹放送事業者の認定の概要

---

平成30年3月5日  
事務局

# これまでの衛星基幹放送事業者の認定の概要 (BSデジタル・テレビジョン放送)

## 1. BS放送に関する基本的考え方 (基幹放送普及計画 (昭和63年郵政省告示第660号))

### ・H12年認定～H23年認定:

技術動向を踏まえ、高精細度テレビジョン放送を中心としつつ、デジタル技術を活用した高音質化及び高画質化を目指すとともに多様化、高度化する放送需要に応えるための放送を行う。

### ・H29年認定:

技術動向を踏まえ、高精細度テレビジョン放送及び超高精細度テレビジョン放送を中心としつつ、それぞれの特性を生かした放送を行う。

## 2. これまでの認定の概要 (NHK及び放送大学学園については、公募の対象外)

### ○平成10年認定【2K】

公募スロット数	192スロット (1ch、3ch、13ch、15ch)
確保できた理由	未使用の周波数
帯域・画質に関する考え方	高精細度テレビジョン放送の伝送速度は、22Mbps (約20.7スロット) 以上、標準テレビジョン放送の伝送速度は、6Mbps (約5.7スロット) 以上を目安とする。
申請概要	【申請者数】 8者 【番組数】 8番組
認定概要	【認定者数】 7者 【番組数】 7番組 【スロット数】 6スロットSD: 1番組、22スロットHD: 6番組 (その他、NHK 6スロットSD: 1番組、8スロットSD: 1番組、22スロットHD: 1番組) 計174スロット ※その他、データ放送12.25スロット、超短波放送5.75スロット

### ○平成17年認定【2K】

公募スロット数	48スロット (9ch)
確保できた理由	NHKによるアナログハイビジョン放送の終了により確保
帯域・画質に関する考え方	・高精細度テレビジョン放送に係る申請を優先 ・周波数の効率的利用 (必要なスロット数及び画質等に関する技術的な説明の妥当性の程度) を考慮
申請概要	【申請者数】 4者 【番組数】 4番組
認定概要	【認定者数】 3者 【番組数】 3番組 【スロット数】 15スロットHD: 2番組、18スロットHD: 1番組 計48スロット

# これまでの衛星基幹放送事業者の認定の概要(BSデジタル・テレビジョン放送)

## ○平成21年認定【2K】

公募スロット数	192スロット(5ch、7ch、11ch、19ch)
確保できた理由	アナログ放送の終了及び未使用の周波数により確保
帯域・画質に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高精細度テレビジョン放送に係る申請を優先</li> <li>・高画質性(ピュアHD比率)を考慮</li> </ul>
申請概要	<b>【申請者数】</b> 18者 <b>【番組数】</b> 23番組
認定概要	<b>【認定者数】</b> 7者 <b>【番組数】</b> 10番組 <b>【スロット数】</b> 13スロットHD:2番組、16スロットHD:6番組、24スロットHD:2番組 (その他、放送大学学園 16スロットHD:1番組) 計186スロット ※7chに6スロット残余が発生
備考	衛星放送協会が画質評価会を開催(H20.11.11)

## ○平成22年認定【2K】

公募スロット数	102スロット(7ch(6スロット)、21ch、23ch)
確保できた理由	前回の認定の残余及び未使用の周波数
帯域・画質に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高精細度テレビジョン放送に係る申請を優先</li> <li>・高画質性(ピュアHD比率)を考慮</li> </ul>
申請概要	<b>【申請者数】</b> 12者 <b>【番組数】</b> 18番組
認定概要	<b>【認定者数】</b> 5者 <b>【番組数】</b> 7番組 <b>【スロット数】</b> 6スロットSD:1番組、16スロットHD:6番組 計102スロット

# これまでの衛星基幹放送事業者の認定の概要(BSデジタル・テレビジョン放送)

○平成29年認定(右旋)【4K】 ※2Kと4K/8Kでは圧縮技術が異なるため、1中継器当たり2Kは48スロット、4K/8Kは120スロットとなる。

公募スロット数	120スロット(17ch)及び帯域削減により確保できたスロット数
確保できた理由	既存業務(4K・8K試験放送)の廃止及び帯域削減により確保
帯域・画質に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のBS放送の業務の帯域(8スロット以上)を削減する等の申請を優先</li> <li>・高画質性(ピュア4K比率)を考慮</li> </ul>
申請概要	<b>【申請者数】</b> 6者 <b>【番組数】</b> 6番組
認定概要	<b>【認定者数】</b> 5者 <b>【番組数】</b> 5番組 <b>【スロット数】</b> 40スロット4K:5番組 (その他、NHK 40スロット4K:1番組) <u>計240スロット</u>

○平成29年認定(左旋)【4K/8K】

公募スロット数	360スロット(8ch、12ch、14ch)
確保できた理由	国際調整により確保
帯域・画質に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高画質性(ピュア4K/8K比率)を考慮</li> </ul>
申請概要	<b>【申請者数】</b> 4者 <b>【番組数】</b> 4番組
認定概要	<b>【認定者数】</b> 4者 <b>【番組数】</b> 4番組 <b>【スロット数】</b> 40スロット4K:4番組 (その他、NHK 120スロット8K:1番組) <u>計280スロット</u> ※12chに80スロット残余が発生

## 1. 東経110度CS放送に関する基本的考え方(基幹放送普及計画)

・H12認定、H16認定:

デジタル放送の普及に当たっては、既存の放送(標準テレビジョン放送等)の音質及び画質の水準を維持するとともに、デジタル技術を活用した高音質化及び高画質化を推進する。

・H21認定、H24認定:

技術動向を踏まえ、高精細度テレビジョン放送を中心としつつ、デジタル技術を活用した高音質化及び高画質化を目指すとともに多様化、高度化する放送需要に応えるための放送を行う。

・H29認定、H30認定(予定):

技術動向を踏まえ、高精細度テレビジョン放送及び超高精細度テレビジョン放送を中心としつつ、それぞれの特性を生かした放送を行う。

## 2. これまでの認定の概要

○平成12年認定【2K】

公募スロット数	576スロット(ND2~ND24)
確保できた理由	未使用の周波数
帯域・画質に関する考え方	一の者に指定する1秒当たりのシンボル数は7.215Mbaud(12スロット)以上とし、原則として、1秒当たりのシンボル数7.215Mbaud(12スロット)の整数倍のシンボル数とする。
申請概要	【申請者数】 38者 【番組数】 115番組
認定概要	【認定者数】 15者 【番組数】 61番組 【スロット数】 4.8スロットSD:5番組、5.5スロットSD:3番組、6スロットSD:17番組、7スロットSD:13番組、8スロットSD:6番組、9スロットSD:4番組、10スロットSD:1番組、11スロットSD:1番組、12スロットSD:8番組、13スロットSD:1番組、18スロットSD:1番組、19スロットSD:1番組 計 484.5スロット ※その他、データ放送79.5スロット、超短波放送12スロット

# これまでの衛星基幹放送事業者の認定の概要(東経110度CSデジタル・テレビジョン放送)

## ○平成16年認定【2K】

公募スロット数	92スロット(ND2(24スロット)、ND8(12スロット)、ND10(36スロット)、ND18(20スロット))
確保できた理由	既存業務の廃止等により確保
帯域・画質に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>一の者に指定する1秒当たりのシンボル数は7.215Mbaud(12スロット)以上とし、原則として、1秒当たりのシンボル数7.215Mbaud(12スロット)の整数倍のシンボル数とする。</li> <li>既存業務の廃止をした上での申請を既存業務のシンボル数の限度で優先</li> </ul>
申請概要	<b>【申請者数】</b> 13者 <b>【番組数】</b> 56番組
認定概要	<b>【認定者数】</b> 12者 <b>【番組数】</b> 55番組 <b>【スロット数】</b> 5スロットSD:1番組、5.5スロットSD:5番組、6スロットSD:23番組、6.62スロットSD:1番組、7スロットSD:9番組、7.72スロットSD:1番組、8スロットSD:8番組、9スロットSD:3番組、9.66スロットSD:1番組、10スロットSD:1番組、12スロットSD:2番組 <u>計382.5スロット</u> ※その他、データ放送1.5スロット (新たに認定を受けたことによる既存業務の廃止(292スロット)を含む)

## ○平成21年認定【2K】

公募スロット数	24スロット(ND8)
確保できた理由	既存業務の廃止により確保
帯域・画質に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>高精細度テレビジョン放送に係る申請を優先</li> <li>高画質性(ピュアHD比率)を考慮</li> </ul>
申請概要	<b>【申請者数】</b> 15者 <b>【番組数】</b> 20番組 ※BSの認定申請との併願(4者、4番組)を含む
認定概要	<b>【認定者数】</b> 1者 <b>【番組数】</b> 1番組 <b>【スロット数】</b> 24スロットHD:1番組 <u>計24スロット</u>
備考	衛星放送協会が画質評価会を開催(H20.11.11)

# これまでの衛星基幹放送事業者の認定の概要(東経110度CSデジタル・テレビジョン放送)

## ○平成24年認定【2K】

公募スロット数	104.8スロット(ND2、ND6(0.8スロット)、ND8(8スロット)、ND14)
確保できた理由	平成22年のBSの認定により一部事業者がBSへ移動したこと及び既存業務の廃止等により確保
帯域・画質に関する考え方	・①既存の業務を廃止等(12スロット以上)して行う高精細度テレビジョン放送に係る申請、②高精細度テレビジョン放送に係る申請、③既存の業務(6スロット未満)を廃止して行う標準テレビジョン放送(6スロットに限る)に係る申請、④その他の申請の順に審査 ・高画質性(ピュアHD比率)を考慮
申請概要	【申請者数】 33者 【番組数】 39番組
認定概要	【認定者数】 12者 【番組数】 14番組 【スロット数】 3.2スロットSD:1番組、6スロットSD:3番組、16スロットHD:10番組 計181.2スロット (新たに認定を受けたことによる既存業務の廃止等(76.4スロット)を含む)
備考	衛星放送協会が画質評価会を開催(H22.12.17、20、21)

## ○平成29年認定(左旋)【4K】 ※2Kと4Kでは圧縮技術が異なるため、1中継器当たり2Kは48スロット、4Kは120スロットとなる。

公募スロット数	600スロット(ND9、ND11、ND19、ND21、ND23)
確保できた理由	国際調整により確保
帯域・画質に関する考え方	・高画質性(ピュア4K比率)を考慮
申請概要	【申請者数】 2者 【番組数】 9番組
認定概要	【認定者数】 1者 【番組数】 8番組 【スロット数】 60スロット4K:8番組 計480スロット ※ND21及びND23に各60スロット残余が発生

# これまでの衛星基幹放送事業者の認定の概要(東経110度CSデジタル・テレビジョン放送)

## ○平成30年認定(予定)【2K】

公募スロット数	60スロット (ND2(4スロット)、ND4(16スロット)、ND6(2スロット)、ND10(12スロット)、ND12(12スロット)、ND14(6スロット)、ND20(8スロット))
確保できた理由	既存業務の廃止等により確保
帯域・画質に関する考え方	・①既存の業務を廃止等(12スロット以上)して行う高精細度テレビジョン放送(12スロットに限る)に係る申請、②既存の業務を廃止等(12スロット未満)して行う高精細度テレビジョン放送(12スロットに限る)に係る申請、③高精細度テレビジョン放送(①、②以外の申請で、12スロットに限る)に係る申請、④既存の業務(6スロット未満)を廃止して行う標準テレビジョン放送(6スロットに限る)に係る申請、⑤その他の申請の順に審査 ・高画質性(ピュアHD比率)を考慮
申請概要	【申請者数】 14者 【番組数】 19番組
認定概要	—
備考	衛星放送協会が画質評価会を開催(H29.5.16、18)